

令和7年度 第2回浄水地域会議 会議録

■ 日時 令和7年6月11日（水） 午後7時 ～ 8時

■ 場所 浄水交流館 大会議室

■ 出席者

<委員> 石川 須美子 内迫 貴光 勝野 房則
 桑原 正明 佐竹 修 土田 洋
 長江 光一 成瀬 博文 野畑 安浩

<交流館> 土井 由利（浄水交流館 館長）

<事務局> 杉浦 智文（地域交流課 課長） 吉村 直樹（地域交流課 担当長）
 渡邊 洋一（地域交流課 主任主査）

■ 内容

移動支援の取組推進に向けた今後の進め方と課題感の共有について

- （1）今後の進め方について
- （2）課題感の共有について

■ 議事内容（要約）

移動支援の取組推進にむけて、移動の現状や困りごとを共有した。主な意見は以下の通り。

- ・移動に困っている地域と、そうでない地域がある。浄水町自治区など平坦な地域は、移動が容易であることが魅力で住まいを選ばれていることもあり、困る声はあまり聞かない。
- ・具体的な困りごととして、バス停まで行くのが大変という声がある。伊保原自治区のように坂道が多い地域では特に顕著である。高齢化、単身世帯も多く、車が使えない人が増えている現状があり、問題意識が強まっている。
- ・その他、高齢者が通院目的で移動する場合、バス利用が主な移動手段となる。行きはよいが、帰りの時間に柔軟性がないことが困る。
- ・乗合支援を検討する場合、運転手の確保が一番の課題。誰かを乗せて事故にあってしまったら心配であるという声もある。
- ・Cウォークのような移動手段の貸出、ウーバータクシー等のサービスの利用を検討することもひとつの手だと思いが、それぞれに課題がある。
- ・高齢者で足が悪いと、前向きな気分になれない。少しでも外に出て、元気になってほしい。
- ・健康寿命の観点も大切。交通手段を整理しても経年で使われなくなるもある。場の移動を考えることも大切ではないか。
- ・場の移動の例としては移動販売、集まって交流するきっかけにもなる。

■ 今後の予定

令和7年度第3回浄水地域会議

令和7年7月9日（水）午後7時～ 浄水交流館大会議室にて